

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-109	Year Month Day Time 2011 年 5 月 4 日 15 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
新潟商業	(21 1st 16 22 2nd 15 19 3rd 8 16 4th 13 OT)	明成高校
78 ○		52 ●

主審:Referee
高城 邦弘 (宮城県)
副審:Umpire
佐藤 良明 (秋田県)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代工業高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	黒崎 海斗	cap	10	1	3	1	0	4		藤井 祐希		-	-	-	-	0
5	/	笹川 鍊也		0	0	0	0	0	5	×	金子 大希		4	0	2	0	3
6	×	小川 健太		6	0	3	0	1	6	/	川東 聖司		0	0	0	0	0
7	×	江部 大樹		10	0	3	4	1	7	/	白戸 大聖		11	2	2	1	3
8	/	神田 佑成		2	0	1	0	0	8	/	森川 文弥		10	2	2	0	2
9	×	近藤 孝仁		7	0	3	1	1	9	×	宮本 滉希		11	0	5	1	2
10	/	小柳 多功		8	0	3	2	1	10	/	岩田 裕介		4	0	1	2	2
11	×	笹原 一生		11	1	1	6	2	11	×	中村 優斗	CAP	2	0	1	0	1
12	/	伊藤 賢人		2	0	1	0	0	12	/	柳川 知之		0	0	0	0	1
13	/	大矢 孝太郎		9	0	3	3	1	13	/	市原 大臣		2	0	1	0	1
14	/	今井 惇司		6	2	0	0	1	14	×	森 知史		4	0	1	2	2
15	/	藤井 智己		2	0	0	2	0	15	/	高柳 紗万		2	0	1	0	1
16	/	新沢 亮太		0	0	0	0	0	16	×	齋藤 巧己		2	0	1	0	1
17	/	加藤 豪大		0	0	0	0	1	17	/	山崎 友斗		0	0	0	0	0
18	/	渡辺 樹大		5	1	1	0	0	18	/	本間 翔太郎		0	0	0	0	1
コーチ		中屋 廣昭							コーチ		佐藤 久夫						
合計				78	5	22	19	9	合計				52	4	17	6	20

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

ここまでまだ勝利を挙げていない両チームが初勝利をかけた試合が始まった。

両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。両チームとも序盤から激しいディフェンスを見せる。その中で、新潟商業は#11笠原のミドルシュートなどで点数を重ねる。明成はタイムアウトを取り、立て直しを図るもシュートに対してファウルがかさむ。それでも明成は#7白戸のバスケットカウントなどで離されまいとする。16-21と新潟商業5点リードで第10終了。

2Q、お互いに開始2分得点が決まらず、メンバー交代を行い流れを変えようとする。中盤は#7江部のバスケットカウントを皮切りに新潟商業が得点を重ねる。さらに新潟商業がオールコートディフェンスに切り替え一気に流れをつかもうとすると、明成は立て続けにミスをしてしまう。明成は#9宮本のドライブなどで食らいつくも、43-31と新潟商業がリードを広げて2Q終了。

3Qは序盤から一進一退の攻防が展開される。両チームなかなか流れをつかめない中でも新潟商業は#8神田のドライブなどで少しずつ点差を広げる。一方の明成はバスケットに近い距離からシュートを試みるも思うように決まらず、逆にディフェンスで相手にフリースローを与えてしまう。残り1分で明成はコート上のメンバーを全て入れ替え、オールコートのディフェンスでプレッシャーを与える。しかし点数には繋がらず、62-39と新潟商業リードのまま3Q終了。

4Q、点差を早く縮めたい明成は#7森川が開始直後に3Pを決める。対する新潟商業も逃げ切ろうとディフェンスで前線からプレッシャーをかけ、明成のミスを誘う。さらに新潟商業は与えられたフリースローを確実に決めるなどし、明成の追い上げを許さない。明成は#15高柳や#9宮本などインサイドのプレイヤーにボールを集め確実に点数を取ろうとするも点数が伸びず、新潟商業が78-52とリードを広げ試合終了。新潟商業は今大会初勝利を手にした。